

【児童発達支援】
事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年2月25日

事業所名 エルベテーク 大阪本部教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に則った指導訓練室等のスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令に則った職員配置をおこなっています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		安全面に配慮し、利用しやすい環境整備に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		安全面、衛生面には特段気を付けています。また教室内は学習に集中しやすいよう、過度な掲示物等は設置しないよう心がけています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		業務改善ミーティングの時間を確保し、より良い支援体制構築のため、業務改善に努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の方々へアンケートを実施し、業務改善につなげています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果と保護者向けアンケート集計結果はホームページ上で公表し、周知しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後必要に応じ、検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修は随時実施しておりますが、職員の指導スキル向上をこれからも追求してまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを保護者の方からのヒアリングを実施し、個別支援計画に反映させています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを精査し、子どもの特性および保護者の方々のご意向、アセスメント内容を踏まえ、個別支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿った支援をおこなっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		より効果的な支援をしていけるよう、プログラムの立案をチームでおこなっています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの発達状況に応じ、独自プリントも取り入れた学習をおこなうことで、支援内容が固定化しないようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの発達状況に応じ、集団での学習活動も取り入れています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日ミーティングは必ずおこない、職員間で情報共有をおこなうことで、より効果的な支援体制の構築を図っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		管理者が職員間での情報共有のための軸となるべく、積極的に職員とのミーティングをおこなっています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録レポートを作成し、保護者の方とのじょゆ法共有に努めると共に、支援の検証・改善のツールとして活用しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		個人別にモニタリング期間を設定し、支援計画を見直しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には、担当の指導員が原則参加しております。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センターなどの関係機関からの紹介があったときは、連携を図ってまいります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象になる児童の利用はありません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアを要する、もしくは重症心身障害のある子どもの利用はありませんが、協力医療機関との連携は図っています。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	保育所等を利用されている場合は、可能な範囲で連携をとるべくモニタリング時等に情報の共有に努めています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	可能な範囲で連携をとるべくモニタリング時等に情報の共有に努めています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今後も引き続き、可能な範囲で研修等に参加し、指導スキルの向上に努めてまいります。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	保護者の要望もヒアリングしながら、必要であれば支援計画に盛り込んだうえで、交流機会を持つことも検討します。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	保護者の要望もヒアリングしながら、必要であれば支援計画に盛り込んだうえで、交流機会を持つことも検討します。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		レポートの利用と入退室時の情報交換の中で、家庭での様子、事業所内での様子の共有をおこなっています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		入退室時の保護者との情報交換の中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。また、発達状況に応じて、ペアレント・トレーニングを保護者に案内しています。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		これからもより一層明確なご説明ができるよう図ってまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画については、アセスメントを十分におこない、保護者、子どもにヒアリングを行った上で作成しています。より一層ニーズに合ったものにしていくためにこれからも努めてまいります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		入退室の際の情報共有以外にも、お申し出があれば保護者の方との面談を随時実施しておりますので、お気軽にお申し出ください。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者懇談会の開催は今後も定期的実施していきますので、是非参加いただければと思います。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の受付体制の明示化、迅速な対応をより一層推進してまいります。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		事例等を掲載した季刊誌を隔月で発行し、保護者間の事例共有、情報共有に努めており、HP、SNS等でも情報を随時発信しています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は鍵付書庫への保管を徹底しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じ、合理的配慮を引き続き行っていきます。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	保護者の方々の要望をふまえて検討してまいります。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルの策定はしておりますが、避難訓練の実施は今後定期的におこなっていきます。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	避難訓練は今後定期的の実施してまいります。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者と連携し、支援の際に留意して対応しています。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			おやつも含めた食事の提供は行っておりません。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員間のミーティングで共有しております。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修の機会を設けております。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		本人の安全確保のため、やむを得ず身体拘束をおこなう際の条件は、契約時にご説明しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。